

クライアントが

逮捕された。

どう支援したらいいのかわからない・・・

初学者・中堅支援者のための ワークショップ ー性加害編ー

- 日時：全2回(1回のみ参加も可) 12:00～17:15
- 方法：オンライン (zoom) ■定員：50名
- 対象：臨床心理士/公認心理師、弁護士など司法関係者、
学校関係者、支援に携わる有資格者
- 参加費：各回5,000円(税込)

■テーマ① 性加害のメカニズムと治療教育 ー再犯防止を目指す社会内処遇の実践と課題ー

①2023年7月2日(日)

■テーマ② 学校における児童生徒間の性加害 ーSCが出来る加害者対応ー

②2023年8月20日(日)

■申込み：右の二次元コードから仮予約申し込み後、振込先をメールでお送りします。お振込後に予約完了となり、zoomURLをお送りします。振込後は返金いたしませんのでご了承ください。

(申込および振込期限は、各回1週間前まで)

■問い合わせ (事務局宛)

nakatsusinri@gmail.com

HP：<http://osaka-shinri.site/>

■全講座終了後、臨床心理士のポイント申請予定



詳細は裏面

■テーマ①

性加害のメカニズムと治療教育—再犯防止を目指す社会内処遇の実践と課題—

再犯防止に向けて、心理臨床家は社会内で何を提供するとよいのでしょうか？社会内処遇に取り組む民間の2団体の実践をお伝えし、参加者の方々と議論します。

前半は、加害者に対する個別面談とグループ形式の認知行動療法、家族に対する家族だけの面談と加害者本人を含めた家族合同面談、家族ピアカウンセリングなど、それぞれの意義と効果、課題を提示します。後半は、架空事例（加害者、家族）を用いて検討します。

■講師：金谷 大哲

ふくおか心理教育オフィスヒュッゲ主宰、臨床心理士、公認心理師。一般企業勤務を経験した後、心理臨床の世界を志し、その後、医療機関、医療NGO（登録継続）、加害者支援NPO、刑事施設（継続中）を経て現職。

■講師：田口 朋

NPO法人スキマサポートセンター所属、臨床心理士、公認心理師。性加害、殺人、窃盗、薬物など様々な加害者とその家族の心理的支援に従事。

■講師：中原 由望子

立命館大学大学院人間科学研究科講師。臨床心理士、公認心理師、博士：人間科学(大阪府立大学)。精神分析、認知行動療法について学びを続け、医療、司法、教育領域で心理臨床を実践している。

■講師：村上 誠治

NPO法人スキマサポートセンター所属、臨床心理士、公認心理師。小中学校でSC(スクールカウンセラー)活動および、SCを対象とした研修の企画・実践を積極的に行っている。また、矯正施設での社会的逸脱行為に対するグループワークも実施している。

■テーマ②

学校における児童生徒間の性加害—SCが出来る加害者対応—

学校現場で児童生徒が性加害を行った場合、加害者にはどのような指導・教育がなされ、そこにSCはどのように関わることが出来るのでしょうか？

前半は、司法施設の矯正教育における心理士の役割や臨床的関わりについてお伝えします。後半は、発達の課題を抱える加害児童とその母親に対する並行面接の事例を紹介します。教育の現場と矯正の現場それぞれに関わってきた立場からの実践的な視点を提供しつつ、グループで意見交換の時間も設けます。